

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	3970101188
法人名	医療法人 仁生会
事業所名	グループホーム赤とんぼ
訪問調査日	平成 20 年 3 月 6 日
評価確定日	平成 20 年 6 月 2 日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 成 20年3月14日

【評価実施概要】

事業所番号	3970101188		
法人名	医療法人 仁生会		
事業所名	グループホーム 赤とんぼ		
所在地 (電話番号)	高知市万々397 (電話) 088-822-1785		

評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成20年3月6日	評価確定日	平成20年6月2日

【情報提供票より】(20年 2月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 6 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤 5人, 非常勤 5人, 常勤換算 5.2人	

(2) 建物概要

建物形態	併設/ 単独	新築/ 改築
建物構造	軽量鉄骨 造り	
	2 階建ての	1 階 ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,000~33,000 円	その他の経費(月額)	12,000 円	
敷金	有(円)	<input checked="" type="radio"/> 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(2月 1日現在)

利用者人数	9 名	男性	3 名	女性	6 名	
要介護1	4 名	要介護2				
要介護3	4 名	要介護4	1 名			
要介護5	名		要支援2	名		
年齢	平均	83.4 歳	最低	73 歳	最高	91 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	細木病院、細木ユニティ病院、岡林歯科医院
---------	----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは2軒の民家を改築した建物で、周辺には民家が多いが、南面は広い空き地となっており、徒歩数分の所にはゆったりとした散歩コースもあり、比較的静かな環境の中にある。居室や共用空間の要所、要所に手すりを設置し、家具類を置くことで、下肢筋力の低下予防に留意している。職員の優しく、温かいケアで、利用者が安心して暮らしていることが窺える家庭的な雰囲気が漂うホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 前回の評価で見出された課題については、すぐに改善計画シートを作成し、職員も、一人ひとりがノートを作り、改善項目の把握に努め、実践に活かしている。
	②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 職員は、評価の意義を十分理解し、前回の改善課題も念頭に入れ、新たな気づきを提言するなど全員で前向きに取り組んでいる。特に、管理者は、評価の意義を職員に意識づける努力をしている。
重点項目	③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 会議では、前回の評価結果や改善内容、防災訓練、ホームの行事、近況などが報告されている。会議を活かした取り組みとして、ホームの近くに街灯が設置され、既存の街灯の照明角度の変更なども実現している。現在検討中の課題は、地域密着型サービスの意義を理解し、地域との関係性を強化した理念の文章化である。
重点項目	④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族が訪問しやすい雰囲気づくりや話しやすい関係づくりを心がけ、人目を気にせず「どんなこと」でも書いてもらえるよう、目安箱を置く場所にも配慮している。また、年2回、母体法人から「苦情申立書」の提出を家族に依頼している。返ってきた申立書は関係部署が保管し、職員がいつでも閲覧できるようになっており、可能な限りサービスに反映させる努力が窺われる。
重点項目	⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 現在、町内会の班長を引き受けている。町内会費の集金やチラシ配りには利用者同伴で行くことが多く、地区の小学校の運動会、消防訓練、一斉清掃などにも参加している。地域との連携を心懸け、地域活動には積極的に参加しており、住民との交流も深まっている。

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所独自の理念がある。 <input type="checkbox"/> これまでの理念に加え、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容である。 地域密着型サービスの意義、役割は理解しているが、理念に反映されていない。理念の見直しについては、運営推進会議の参加メンバーと話し合い、検討中である。	○	地域で暮らし続けられる支援、地域の一人として支え、支えられる関係などを反映した内容となる理念を作ることを期待したい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 日々の業務の中や月1回の全体の勉強会などで、理念について話し合い、理解を深め、実践と共有に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 職員は、スタッフ同志が意見を交換し、声かけをしながら支援を行う事が良いケアに繋がると認識しており、理念とのずれがないかについて日常的に話し合っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の一人として、町会、自治会等に参加している。 現在、町内会の班長をホームが受け持っており、集金、チラシ配り等、利用者同伴で行くことが多い。 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 地区の小学校で行われる運動会、一斉清掃、消防訓練などに参加している。草刈りは職員が参加するなど、地域住民と交流する場面は多い。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 職員は評価の意義について理解しており、職員から「気づき」を提言するなど、全員で評価に取り組んでいる。特に、管理者は、評価の意義を職員に意識づける努力をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 前回の評価で見出された課題については、改善計画シートを作成し改善するとともに、職員一人ひとりがノートをつくり、改善項目の把握に努め実践に活かしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。</p> <p>会議では、前回の評価結果や改善内容、防災訓練、ホームの行事、近況などが報告されている。会議を活かした取り組みとして、ホームの近くに街灯が設置され、既存の街灯の照明角度の変更なども実現しており、双方向的な会議となっていることが窺われる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。</p> <p>前回の評価結果の報告と同時に、改善内容を報告している。検討事項・懸案事項など必要なことは報告し、サービスの質の向上に活かす努力が窺われる。</p>		
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p><input type="checkbox"/>市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。</p> <p>現在は運営推進会議での交流が主である。</p>	○	<p>地域密着型サービスの質の向上と問題解決を図る意味からも、ホーム側から行政への関係作りを積極的に働きかけ、継続した協働関係を築く努力を期待する。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。</p> <p>家族が訪問しやすい、話しやすい雰囲気づくりを心掛けている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。</p> <p>毎月1回のホーム便りと一緒に、利用者一人ひとりの日々の暮らしを報告している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告されている。</p> <p>心身の状況、変化については特に留意し、家族との連絡は密にしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。</p> <p>毎月1回、請求書と一緒に、預かり金明細のコピー、支払い分についての領収書を送付している。来訪時には、預かり金明細書の確認をしてもらい、サインをもらっている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 日頃から、家族の訪問は多く、コミュニケーションはとれている。職員は、ホームの行事の時などに、家族同士の話しやすい場面作りを心掛けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 法人全体として、年2回、苦情申立書の提出を家族に依頼している。申立書は関係部署が保管し、職員が閲覧する仕組みになっている。ホームとしては、目安箱を置く場所を工夫し、他人の目を気にせず書くことできるように配慮をしている。家族の意見は可能な限りサービス等に反映するよう取り組んでいる。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 基本的には、職員の異動は最小限に留め、継続した支援を心掛けている。新しい職員が入る場合は新人研修で職員としての認識を深めさせ、利用者、家族への不安の解消に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。 法人内の異動で、管理者が交代する場合は、1か月の引き継ぎ期間をとっている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 法人内、外の年間研修計画を作成し、全職員がケアの向上を目指して研修や会議などに参加できる体制である。 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 研修に参加した全ての職員は報告書を提出するほか、勉強会でも報告し、内容の共有に努めている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 <input checked="" type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 同業者と情報の交換を行い、交流を深めている。法人内のグループホームの職員とは月1回の職員会で情報交換を行っており、サービスの質を向上させるための取り組みが窺われる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めている。</p> <p>入居時には、心身の状況、病歴、生活歴、趣味などを聴取し、入居後のケアに活かすことができるよう把握に努めている。入居後、新しい情報があれば書き加えている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。</p> <p>希望者には自由に見学してもらっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者には、管理者と職員が面接を行っている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、利用者を支援されるのみの立場にはおいていない。</p> <p>日々の生活の中で、職員は利用者への声かけに重点をおき、その過程での利用者の表情を見過ごすことがないよう、スタッフが同じ視点で、「支え合う」関係づくりに留意している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>支援する側、される側という意識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p>「できること」はしてもらい、「できそうな」と思う場面では手をさしのべるという気持ちで接している。和やかな雰囲気が随時・随所に見受けられる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者から生活の技や生活文化の大事さを教えてもらう場面がある。</p> <p>縫い物、料理の下ごしらえ、調味料の合わせ方、書道の手ほどきなど、長年培ってきた生活の技を随所で教えてもらっている。</p>		
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。</p> <p>日々の関わりの中で声かけには特に留意し、表情などから、希望、意向の把握に努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。</p> <p>意向がつかめない利用者に対しては、家族、関係者からの情報を大切にしながら、利用者の反応を大切にするという視点で支援をしている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 利用者や家族の要望をもとに、計画作成者と職員が一体となって、実践可能なプランの作成をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。 毎月の職員会のあとで、カンファレンスを行っている。意見交換は活発である。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直している。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直している。 利用者に状態の変化が生じた場合は、関係者と話し合い、その都度見直しを行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人の状態や計画内容に応じた個別の期間設定をしている。 一時的に入院していた利用者が帰ってきた場合などは、期間を1週間にするなど、個別に柔軟に対応している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療処置を受けながら生活が継続できるように努めている。 医療連携制度の活用で、ホームでの生活が継続できるように努めている。 <input type="checkbox"/> 重度化した場合や終末期も事業所でケアを提供している。 現在まで事例はないが、検討中とである。 <input checked="" type="checkbox"/> 特別な外出、通院や送迎、外泊などの支援を行っている。 通院は基本的に家族に依頼しているが、都合がつかない時は職員が同伴している。教会へ行くなど、特別な外出は職員が同伴している。	○	状態の変化に即して利用者、家族、医師、その他関係者が十分意志の疎通を図り、最良の終末を迎えることができるように、今後も継続した努力を期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。 かかりつけ医については、本人や家族と話し合いのうえ受診できるよう支援をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。 受診結果については、職員、家族の同行に関わらず、提供された情報は個人記録にファイルし、共有している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input checked="" type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 重度化や終末期のあり方については、家族に話し、職員会でも話し合い、重度化した場合の指針も作成している。現在まで該当者はいないが、対応できる体制はできている。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期を迎えられるように取り組んでいる。 家族に対しては、終末医療について「看取り同意書」で説明している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉がけや対応に配慮している。 利用者の人格の尊厳を重視し、誇りやプライバシーを損ねない「配慮ある対応」を常に心懸けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。 個人記録の氏名など、他の人から見えないようにして、プライバシーの保護を心がけている。 <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 毎月の職員会や勉強会で、個人情報保護法に関しての理解を深め、徹底するように話し合っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの「その日」にしたいこと(買い物や散歩等)を把握し、それに応じて柔軟に支援している。 買い物や散歩など、一人ひとりの希望や意向を見い出したり、聞きながら、利用者の気持ちに沿えるよう柔軟に対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない 個々の利用者に配慮し、個別性を尊重して、利用者のペースを大切に支援を行っている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 調理の下ごしらえ、盛り付け、後片づけなど一連の流れは、利用者の意志や気持ちを尊重して進められている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 利用者と職員は同じものを一緒に食べ、食事を楽しむ雰囲気づくりを大切にしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 基本的に自由に入浴でき、4名の夜間入浴者がいる。職員の勤務ローテーションに配慮をしつつ、利用者の希望に合わせた入浴支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。 入浴拒否の方に対しては、言葉掛けのタイミングなどを工夫し、買い物から帰った際などを見計らって支援をしている。拒否の方も風呂場に行けば喜ぶ時もある。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握している。 利用者の経歴、経験、表情などから、如何にすれば個々の利用者が「喜びのある日々」を過ごせるかを探りながら支援をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 過去の経験や得意分野の把握ができており、利用者一人ひとりに見合った「気分や活力」を高めることや能力を発揮できる場面作りを行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。 職員は、一人ひとりの特徴や得意分野の把握はできている。さりげない場面づくりを心掛けている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	61	事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 馴染みの店は特に無いが、スーパーまで1人で行く利用者には、職員がさりげなくついて行っている。月1回自宅に帰る人、信仰している教会に行く人など、出来る限り希望に沿った支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。 歩行が不安定な利用者に対しては、車椅子を使用することで、戸外に外出できるよう支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 ホームの近辺には散歩に適した道路があり、午前、午後出かける人もいる。食材やホームでの必要物品購入の際に、利用者が交替で買い物に同行している。月1回のバスレクもある。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 職員は利用者の外出習慣を把握しており、外出傾向のある方には、さりげなく声をかけ、同行するなど、安全面を確保しながら対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 散歩の時などに挨拶して、日頃から地域の方との交流を深めるようにしている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。 防災対策マニュアルを作り、年2回利用者と避難訓練を行っている。消防署の協力のもと、夜間設定での訓練時は、事前に近隣住民にチラシを配り協力を求めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 防火自主点検表、消火器、懐中電灯等の点検を行っている。ホーム内の倉庫に飲料水、カンパン、缶詰、オムツ、ガスボンベなどの備蓄用品がある。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。</p> <p>ホームの職員が、旬の物や利用者の希望を取り入れた献立を作っている。きざみ食の方や朝食はパンを好む方など個別に対応した支援をしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。</p> <p>法人の管理栄養士が、定期的にカロリー計算を行っている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。</p> <p>共用の空間は、明るく、居心地良く、温かみがあり、安心して過ごせる場所となっている。適所に置かれた馴染みの物が、「生活の場」をより深めていることが窺われる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。</p> <p>利用者が書いた書道や絵画が、玄関を一步入ったコーナーに掲示されており、温かみがあり、家庭的な雰囲気を醸しだしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。</p> <p>共用空間には、お雛様の段飾りが飾られ、玄関にも季節の花が生けられている。庭にも季節の花が植えられ、四季を味わい、くつろぎ、安らぎのある暮らしができるように配慮している。</p>		
30	83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫している。</p> <p>馴染みの家具類が使いやすく配置され、家族の協力のもと、温かさや個性が見受けられる工夫がされている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組まれている。</p> <p>ほとんどの利用者は、家族の協力が得られており、それ以外の場合でも、本人の意向を確認しながら、話し合い、温かみのある部屋になるように努力している。</p>		